

出前で応援練習

5・6年生の応援団が考えた振り付けを、各色の子どもたちに教えるために動画を作成し、朝の活動時間に放送で流しています。1年生のクラスでは、みんながテレビの応援動画をじっと見つめていました。応援団員のお兄ちゃんお姉ちゃんたちがカッコよく演じている様子に、きっと体育大会への期待を膨らませていたのではないでしょう。



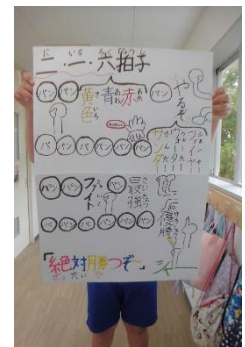
応援の動画

また、9月16日の朝の会には、応援団員が3名ずつ各教室へ出向いて、応援練習をしました。あらかじめ応援動画を見ていたので、子どもたちは応援の流れや動作を応援団の子に合わせてすることができたようです。応援の流れやリズムを分かりやすく説明するため応援団の子たちは大きい用紙に説明を書いて準備していました。



各クラスで応援動画を視聴

黄組の応援は二一六拍子で、「パン、パン、『黄色』、パン、『やるぞ』、パ、パン、パ、パン、パン、パン、『最強』…」とリズムカルに声を出しやすい言葉が使われていました。低学年の子どもたちにも分かりやすい応援になるよう工夫したようです。残念ながら、言葉の部分全員で声を出すことは控えます。応援団員だけが声を出して、他の子は手拍子と動作しか出来ませんが、今日の練習では、どのクラスでも一生懸命取り組んでいました。



体育大会は、子どもが自ら考え、諦めないで最後まで取り組み、仲間と共に競い合い教え合う機会です。そして、応援は単なる声の張り上げ合戦ではなく、集団で声や体の動きを合わせ、表現することを通して、社北小学校の一人だという自覚と誇りをもつ機会だと考えております。



校内体育大会に向けた学年の練習も始まり、子どもたちのモチベーションも上がってきています。コロナ禍でも、元気いっぱいの子どものパフォーマンスが期待できそうです。

